



東京産業保健総合支援センター研修案内(令和7年3月)

- ◇研修は当センターのホームページからお申し込みください。※利用者登録(無料)が必要です。
- ◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。
- ◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=https://www.tokyosjohas.go.jp

◆日医認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

◆注意◆

令和2年10月開催分から「日医認定産業医研修」の受付方法を変更しております。

お1人様、月1回のみの受講となっておりますので、必ず当センターホームページに掲載してある【「日医認定産業医研修会」の受付方法の変更について】(令和5年5月31日から一部変更)をご覧ください、ご了承の上、お申し込みください。

先着順です。(抽選ではありません。)

日医認定産業医研修(令和7年3月開催分) 申込受付日時 早見表

申込受付日時		研修日時		研修テーマ	単位
2月3日(月)	10時～	3月4日(火)	14時～16時	作業環境測定・評価の実施ポイント	専門2
	10時30分～	3月5日(水)	14時～16時	事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理	実地2
	11時～	3月7日(金)	14時～16時	事例検討～復職支援の勤どころ～	実地2
2月4日(火)	10時～	3月12日(水)	14時～16時	定量的フィットテストの実際	実地2
	10時30分～	3月19日(水)	14時～16時	高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～エイジフレンドリーガイドラインとフレイル、ロコモ～	専門2

研修日時	研修テーマ	講師	単位	定員
3月4日(火) 14:00～16:00 申込受付日時 2月3日(月) 10時～	作業環境測定・評価の実施ポイント 作業環境測定については、安衛法第65条により従来より実施が規定されていますが、最近では個人サンプリング法による実施等新たな手法も導入されています。 本研修では、作業環境測定及び評価を実施する上でのポイントについて、最近の法規制の改正を踏まえて分かりやすく解説します。	津上 昌平	生涯・ 専門2	55
3月5日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 2月3日(月) 10時30分～	事例検討に学ぶ海外勤務者の健康管理 各種産業分野の国際化に伴い、海外勤務者の数が増加している。 特に近年は、海外出張を繰り返す形で海外事業を運営する企業が増加しており、海外出張者の健康管理の重要性が高まっている。 今回の研修では、海外駐在者および海外出張者の事例を提示し、その事例の健康管理方法についてグループワークを行いながら、海外勤務者への適切な健康対応を学んでいく。	濱田 篤郎	生涯・ 実地2	36
3月7日(金) 14:00～16:00 申込受付日時 2月3日(月) 11時～	事例検討～復職支援の勤どころ～ うつ病や適応障害による休職者の復職支援、復職判定について、事例を踏まえ業務起因性精神疾患の考え方、休職者の心理、リワークを含めた休職中の支援の進め方を検討します。 また診断書や意見書など主治医との効果的な情報交換の方法も紹介します。	(株)ジャパンEAPシステムズ取締役・ 顧問医 米沢 宏	生涯・ 実地2	50
3月12日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 2月4日(火) 10時～	定量的フィットテストの実際 化学物質のばく露対策として呼吸用保護具を使用する場合にはフィットテストが必要です。 呼吸用保護具が個々の顔にフィットしていないと、期待される防護性能が得られません。 ここでは実機を使ってフィットテストインストラクターがテストの実際をご説明します。	日本カノマックス(株) クリーンエアソリューションズ ディヴィジョンマネージャー 有松 仁	生涯・ 実地2	30
3月19日(水) 14:00～16:00 申込受付日時 2月4日(火) 10時30分～	高齢労働者の安全衛生対策の進め方 ～エイジフレンドリーガイドラインとフレイル、ロコモ～ 休業4日以上死傷者数のうち50歳以上の高齢労働者が半数以上を占めています。 高齢者の身体機能は壮年者と比較すると低下しており、高齢になるほど転倒災害の発生率が高くなることに影響していると考えられています。 また、定期健康診断における有所見率は高齢になると高くなっています。 厚生労働省は、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(エイジフレンドリーガイドライン)」を公表しています。 最近では、転倒を予防するために、フレイル、ロコモーションシンドローム(ロコモ) 予防を意識した健康づくり活動が重要視されてきています。 これらの要点と留意事項を説明します。	荒川 輝雄	生涯・ 専門2	55

◆産業保健研修◆ 産業看護職・衛生管理者・人事労務担当者等産業保健スタッフを対象とした研修です。

※単位等の取得はできません。

●産業保健研修の申込受付開始は、すべて**2月3日(月)10時～**です。

<web研修> ◆当センターホームページの「web研修会受講の注意事項及び受講手順」を必ずご覧の上、**お申し込みください**◆

研修日時	研修テーマ	講師	定員
3月13日(木) 14:00～16:00	<p>【web研修会】 職場の安全と安心を守る カスタマーハラスメント対策 カスタマーハラスメント(以下カスハラ)対策は従業員が安心して働ける組織づくりのために必要不可欠なものであり、事業所として対策を講じることが求められています。ですがカスハラは社内のハラスメントと違い、社外の顧客関係が複雑にからんだデリケートな問題です。 トラブルから組織や従業員を守るためカスハラ対策の取り組み方について考えてみましょう。</p>	産業カウンセラー 森井 梢江	70

<会場研修>

研修日時	研修テーマ	講師	定員
3月26日(水) 14:00～16:00	<p>ハラスメントと思われる言動でメンタルヘルス不調になった事例 ～職場復帰までに時間がかかる、その支援のあり様を考えてみましょう～ ハラスメントの訴えの多い、労災申請もある現状、皆さんのところではいかがでしょうか。いろんな言動が人によりハラスメントに至る場合もあります。ある時から変化してしまう人との関係性。人との関係性は難しい面が多くあるのは確かです。 組織的な支援が必要となりますが、なかなか未然に防ぐ対応ができにくいこともあり、時には泥沼化することもあるハラスメントに係る言動とその受け止め方。 一つの事例を通して、その経過をお伝えしながら、「働きやすい職場づくり」、「心理的安全性を保つ職場」について考えていきます。 皆さんとご一緒に、復帰支援をしていけるよう、その思いを共有していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い！</p>	労働者健康安全機構産業保健 アドバイザー 公認心理師 菅野 由喜子	55